

患者さまへ

「骨折後の高齢者に対する非ステロイド性抗炎症薬の使用がリハビリテーションによる日常生活動作改善に与える影響」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2017年1月から2019年6月までに大垣徳洲会病院回復期リハビリテーション病棟に入院された65歳以上の方
2 研究目的・方法	高齢の骨折患者さまを対象に、リハビリテーションでの非ステロイド性抗炎症薬の使用が日常生活動作改善に影響を与えるのかを検討する目的で、診療録より臨床情報を取得します。骨折患者さまに対する適切なリハビリテーションのシームレスな実施に貢献できると考えられます。 研究の期間: 施設院長許可後(2024年7月予定)~2026年3月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、入院日数、体重、家族協力の有無、認知機能のスコア結果、入退院時の投薬データ等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 遠藤 秀竜(研究責任者) 大垣徳洲会病院 薬剤部 主任 住所: 〒503-8241 岐阜県大垣市林町6丁目85-1 連絡先: 0584-77-6110(代表)

2024年5月17日作成(第1.0版)